

インターバンクの声（2014 年 11 月 11 日）

週末と退役軍人の日（ベテランズデー）の祝日に挟まれた日とあって、昨夜のニューヨーク市場は静かな一日になると思った市場参加者も多かったに違いない。近年の日本も似たような状況だが、米国の祝日は月曜日設定がほとんどだ。日付け通りの祝日になっているのは、7月4日の独立記念日と11月11日の退役軍人の祝日だけだ。この2つの祝日が木曜日や火曜日となる年は、昨日のように週末と祝日の間の月曜日や金曜日にも休みを取って4日連休にしてしまう人たちも多い。ロンドン勢もこの状況をよく知っているので、アジア市場でのドル売りの流れをそのまま持続させたのだろう。昨日の相場展開からドル円がニューヨーク市場で114円台後半に戻すとは描き難かったはずだ。ユーロや豪ドルの対ドル変化も同じようなものだった。欧州の株価が堅調だったことやダウ平均も上昇に転じたこと、何より週末に大幅低下となった米国債利回りがしっかりと上昇し始めたことがドルの買い戻しを促したようだ。どうも相場も仕切り直しになったようだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。